

みやり、通信

2025 Winter
Vol. 53



Contents

- ・新年のご挨拶
- ・院内旅行
- ・栃木県理学療法士会学術大会
- ・関東カマチグループ医療連携会
- ・ケアマネジャー懇親会
- ・行事食
- ・患者様退院時アンケート





新年のご挨拶

一般社団法人巨樹の会
宇都宮リハビリテーション病院
院長 三澤 吉雄

2025年8月1日で当院は開設14年目を迎えます。今後も当地におきまして、これまで同様に回復期リハビリテーション専門の病院として皆様の健康回復・維持・増進に貢献させて頂きたいと思っております。

回復期リハビリテーション病院は、厚生労働省が定めた病気や怪我で治療中の患者様お一人あたりに一日最大3時間のリハビリテーションを土曜日・日曜日・祭日も休まずに行うように義務付けられております。一日最大3時間のリハビリテーションを、午前2回午後2回ぐらいに分割して行うことが多く、疲労など患者様の状況によっては時間を調整いたします。当院での治療は患者様の回復が極めて良好と最上位にランク付けされる領域（入院料1算定）に至っております。九州及び関東に御座います30の巨樹の会関係グループ病院・クリニック間では、日頃から情報交換や人事交流などを通して知識や技術の取得や医療安全の維持に努めております。

当院では、済生会宇都宮病院整形外科・神経内科・総合内科、NHO栃木医療センター整形外科、獨協医科大学神経内科からそれぞれ医師1名を毎週半日派遣して頂き、各先生方には専門的な立場から関係疾患患者様の診療をお願いしております。

リハビリテーションでは、歩行など移動手段（理学療法）・着替えやトイレ動作（作業療法）・飲み込みや話すこと（嚥下・言語療法）などの向上をそれぞれの専門スタッフが担当いたします。そして、これらのスタッフと医師・看護師・看護補助員・栄養士・薬剤師・社会福祉士・事務職員など各職員が緊密に情報交換しながら、患者様の退院に向けてより良い環境作りをいたします。飲み込む（嚥下）ことが困難な方々に、嚥下リハビリテーションを行なっていますが、2022年から自治医科大学附属病院の耳鼻咽喉科医師の協力を得て、嚥下リハビリテーションの充実・向上を計っています。

また、心臓や肺・消化器系など大きな手術後あるいは肺炎で治療を受けた方など大病後に体力低下をきたす、いわゆる“廃用症候群”の患者様の回復を目指したリハビリテーションにも力を入れております。当院で対応させていただいております病気などについてご質問がおありの場合には、当院連携室（当院代表電話:028-662-6789）にお問い合わせください。



院内旅行2024



沖縄・石垣島



今年も院内旅行へ楽しく行ってきました。

第28回 栃木県理学療法士会学術大会

12月1日、自治医科大学地域医療情報センターにて開催された「栃木県理学療法士会学術大会」にて、当院のリハビリテーション科から2演題発表を行いました。



「右脳梁部梗塞によって空間性注意障害と本能性把握反応を呈し、立位再建に難渋した症例報告」



「回復期リハビリテーション専門職による通所介護施設での運動指導実施報告と今後への課題」

関東カマチグループ医療連携会

10月23日(水)、関東カマチグループ医療連携会を栃木3病院合同で開催しました。
連携医療機関・介護施設等、総勢311名の方々にご出席いただきました。

第1部では3病院の実績報告と症例発表を行いました。

第2部懇親会では短い時間ではありましたが、参加いただいた皆様と意見交換をさせていただきました。

今後とも地域の皆様に安全・良質な医療とリハビリテーションを提供し、地域医療に貢献できるよう職員一丸となって邁進してまいります。



令和6年度 第2回ケアマネジャー懇親会

11月13日(水)、令和6年度 第2回ケアマネジャー懇親会を開催いたしました。

当院の説明を行い、在宅調整を行う上でよりよい連携を図れるよう意見交換を行いました。

今後とも密な連携を図りながら患者様・ご家族様のお力になれるよう支援していきたいと思ひます。



行事食

【年越しメニュー】



メニュー

- 年越しそば
- 天ぷらの盛り合わせ
- かぶの柚子和え
- 抹茶ようかん



メニュー

- 赤飯
- おせち料理
- すまし汁



栄養科からのコメント

普段使わない料理や食材を使用し、見た目も華やかに仕上げる事が出来ました。
これからも患者様に喜んでもらえるようお力添えできたらと思います。

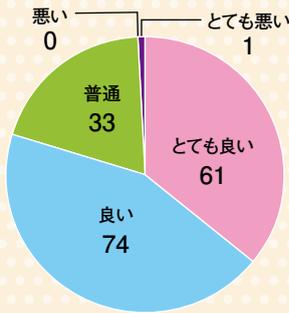
患者様からの声

- ・ 年末年始らしい食事で嬉しかった。
- ・ 普段あまりでない天ぷらが出た。揚げたてで美味しかった。
- ・ 病院でおせち料理を食べることができると思わなかったのが嬉しかった。

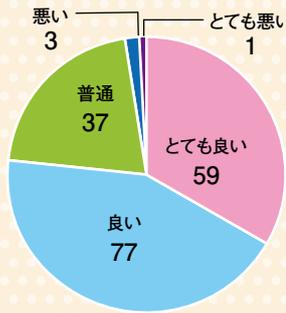
患者様退院時アンケート 令和6年度 上半期集計(4月～9月)

《入院環境及び内容》

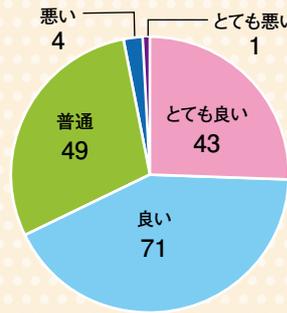
共同で使用する場所



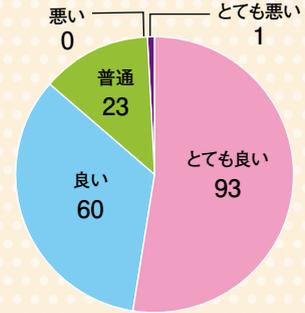
部屋の環境



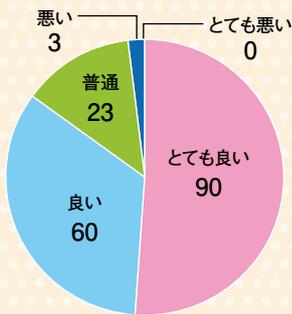
食事の内容



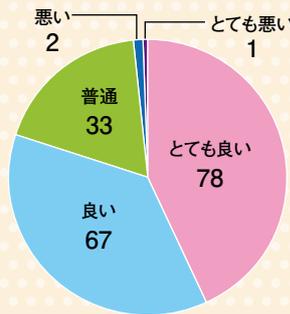
リハビリの内容



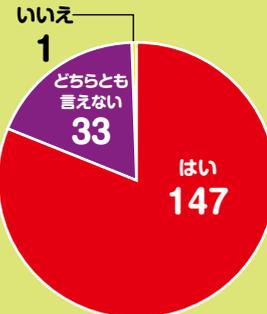
リハビリの結果



面談での病状説明・方針説明



当院を紹介したいと
思いますか



《患者様・家族様から寄せられたご意見》

医師の説明はとても分かりやすかった。
元気になりました。皆さん丁寧に優しくかった。
分からないことは何でも教えてもらい助かりました。愚痴や弱音もしっかり聞いてくれました。
食事の好みなど細かく聞いてもらい、その後はおいしく食事をとることができました。
携帯電話を使用したいが、インターネット環境がなく不便だった。
院内に売店がなく飲み物しか買えないため、その都度家族にお願いするのが大変だった。

《今後の対応》

院内には飲料のみの自動販売機を設置しておりましたが、簡易無人売店を設置いたしました。
飲料だけでなくお菓子や軽食等ご購入いただけます。
入院時に安心してインターネット環境をお使いいただけるようFREE Wi-Fiを設置いたしました。
ご利用方法については病棟スタッフまでお尋ねください。

むすび♡ プロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつである、
毎月配信しているLINEでの情報発信までの道のりをご紹介します。

LINE配信までの道のり



配信日は毎月第1(土) ※現時点の配信日になります。

左図の通り、LINE配信は皆さんのアンケートが出发点となります。
その結果でテーマを決定します。テーマによって、看護師、理学療法士、
栄養士、ソーシャルワーカーなど各専門職が作成します。更に、動画や資料が一般の方にも伝わりやすいか、内容に間違いがないかなど、
医師も含めた医療従事者が確認後にLINEでの配信となります。

LINEの登録は、入院患者さん及びその身内の方に限定していただいておりますが、QRコードから過去に配信した資料や動画をご覧いただけます！

今後も、皆さんの健康にお役に立てるよう配信して参りますので、LINEに登録されている方は、アンケートの回答にご協力いただけます様お願いいたします。



▲ホームページのQRコード



宇都宮リハビリテーション病院 交通のご案内

電車でのご来院

- JR宇都宮駅から車で約15分
- JR岡本駅から車で約5分

バスでのご来院

- 関東バス
JR宇都宮駅東口 岡本駅西口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)
JR岡本駅西口 宇都宮駅東口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)

宇都宮リハビリテーション病院 広報誌



2025 Winter Vol. 53 (令和7年1月発行)

企画発行



宇都宮リハビリテーション病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2
TEL:028-662-6789(代表) FAX:028-660-1041
(広報委員会)